



医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

病院だより
2018年 7月 第17号



ご挨拶

暑中お見舞い申し上げます。

日頃、何かとご指導・ご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

4月27日にホテル日航熊本で開催しました「平成30年度 地域医療連携の集い」には約200名の方々にご参加いただき、有意義な意見交換が出来ました。

御忙しい中をご出席賜り、誠にありがとうございました。改めて厚く御礼申し上げます。

この度、全診療科で外来診療の完全予約制を導入することとしました。

予約の受付を一元化してスムーズに対応できるよう新たに「外来予約センター」を開設し、9月1日からの運用開始に向けて目下精力的に取り組んでいます。これに伴い、これまで多大のご迷惑をおかけして、大きな課題の一つであった長い待ち時間の解消や駐車場の渋滞緩和にかなり対応できるものと期待しています。

また、開放型病床登録医の先生方の更衣室がなくご不便をおかけしていましたが、6月1日より1階の警備員室の隣に設置しましたので、是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。

引き続き、『地域のニーズに応え、明るく親しみやすい、地域とともに成長する病院』を目指して職員一同頑張りますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。

医療法人創起会 くまもと森都総合病院
理事長・院長 藤山重俊

平成30年度 くまもと森都総合病院 地域医療連携の集い 4月27日開催

年に1度開催しております、「くまもと森都総合病院 地域医療連携の集い」を、ホテル日航熊本にて行いました。連携医療機関から約200名の参加を頂きました。

第一部では、診療機能のご紹介として高田整形外科部長が講演いたしました。昨年度より整形外科は常勤医3名体制となり、毎日(月～金)の外来診療のみならず、オンコール体制で救急医療も対応可能となっております。また、リハビリテーションは365日実施できる体制を整え、迅速な手術治療とリハビリテーションを行えます。続いて、本年度より地域医療連携室長に就任した、吉田院長補佐兼総合診療科部長より、新病院に移転から1年間の診療実績についてご報告いたしました。



第一部 講演会の模様

第二部 交流会は、隣接する大腸肛門病センター高野病院 高野正博会長より乾杯の御発声をいただきました。医師、看護師、MSW、コメディカルと多職種にわたりご参加いただき、和やかに連携について踏み込んだ情報交流ができたことに感謝しております。今後は、いただいたご意見を生かし、連携強化に繋げていきたいと思っております。ご参加いただいたみなさまありがとうございました。



第二部 交流会



乾杯

くまもと森都・市民講座 平成29年度 開催報告

当院の理念「質の高い医療を通じて地域に愛され、親しまれる病院」を目指す取り組みの一つとして昨年度から月1回、市民講座を開催してまいりました。のべ531人の方にご参加いただきました。市民講座を担当する医師も、住民の方々が興味をお持ちの内容を取り上げ、わかりやすく伝えるよう工夫して講演して参りました。また、市民講座自体の運営も、回毎に各部署から担当者を出すことにし、多くの職員が地域の方々に触れ合う機会となるようにしました。

参加者からも好評をいただいております。地域のみなさんのご期待に応えるべく本年度も引き続き開催していくこととしております。



平成30年度 市民講座開催予定

- 5月19日 腎臓内科
- 6月16日 総合診療科
- 7月28日 循環器内科
- 9月 8日 乳腺外科
- 10月13日 リウマチ膠原病内科
- 11月17日 婦人科
- 12月 8日 血液内科
- 1月 整形外科
- 2月 肝臓消化器内科
- 3月 皮膚科

時間：午後2時～3時

会場：当院5階大会議室

マンドリンコンサート 4月9日

当院1階のロビーにおいて、28回目となる「熊本マンドリン協会」マンドリンコンサートを開催しました。入院患者さんやお見舞いの方など60名ほどが鑑賞されました。演奏曲も耳馴染みのある曲を選んでいただき、患者さんも口ずさんだり手拍子をしながら楽しんでいらっしゃいました。人の声に一番近い楽器と言われるマンドリンの楽しくもはかなげ独特の音色に癒されたひとときでした。



「看護の日」イベント 5月10日

ナイチンゲールの誕生日(5月12日)にちなんで、当院でも気軽に看護に触れていただける企画を行いました。血圧測定、福祉・医療・栄養・リハビリの各種相談会と今年初の取り組みとして「手洗いチェック」を行いました。外来患者さんや付き添いの方が体験され、「指の股も気を付けて洗わなんね。」「こがん機会のなかと注意はせんけん、してもらってよかった」と好評でした。



リレーフォーライフくまもと 5月12・13日



今年も、「がん患者は24時間、がんに向き合っている」という想いを共有し支援するチャリティー活動、リレーフォーライフに参加しました。

当院では、がん患者さんを支援する活動として、がんサロンの開催を支援しています。

●森都がんサロンほほえみ

日時：毎月第2火曜日 13:30～(2時間程度) 会場：当院 5階会議室

対象：がん患者さん、ご家族

●乳がん患者会「肥後ほほえみの会」

日時：毎月第1金曜日 13:30～

(2時間程度)

会場：当院 5階会議室

対象：乳がん患者さん

お問い合わせは、364-6000
(地域医療連携室)

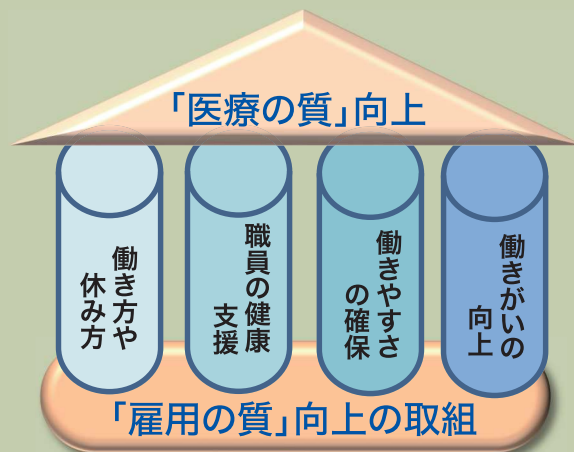


『働きやすい職場づくり』

～「雇用の質」の向上で、「医療の質」の向上を～

本年5月より、総務部に産業カウンセラーの資格を持つ保健師を配置し、職員の心と体の健康維持・増進の一助として職員用健康相談窓口『健康ホットライン』を開設しました。

また、ハラスメントの相談窓口として、新たに第三者窓口を設けました。これらの取組を通じ、働く者にとって魅力的な病院となることで、「医療の質」の向上をはかり、患者さんに還元していく一歩としていきたいと思えます。



厚生労働省
医療分野の「雇用の質」向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引きより

肝臓が悪い方

糖尿病の方

鉄剤を飲んでいる方
免疫が低下している方

ビブリオ・バルニフィカス感染症にご注意!!ください。

ビブリオ・バルニフィカスは、温かい海中に住んでいます。日本での感染者は、熊本県が最も多く、有明海沿岸で全体の50%を占めます。海水温が15℃以上になると増えるので、5月から11月ごろまでは特に注意が必要です。健康な方が感染しても、軽い下痢や腹痛くらいですみませんが、肝硬変など肝疾患を患っている方、免疫力が低下している方、貧血で鉄剤を飲んでいる方は、手足(特に足)の猛烈な痛みから始まって敗血症を起こし重篤な状態になる恐れがあるので、感染しないように注意してください。

予防方法

●食べ物からの感染

5月から11月の間は、魚介類の生食を控え、十分に加熱調理したものを食べるようにしましょう。

調理するときの注意点

- ・調理するまでは冷蔵庫に保管しましょう。
- ・調理するときは十分に流水で洗いましょう。
- ・十分に加熱し、早めに食べましょう。
貝:煮るときは開いてからも5分間煮る。
蒸すときは9分以上加熱。開かないものは食べないように。
- 牡蠣:むき身は3分以上ゆでるか190℃で10分以上油で調理
- ・料理後、調理器具は洗剤で十分に洗い、熱湯で消毒。手は石鹸で良く洗いましょう。
- ・生の魚の肉汁や水分が、果物や野菜、調理後の食品にかからないように注意しましょう。



●傷口からの感染

河口付近から海水に広く生息しています。海水浴は避けるとともに、海岸では素足にならないように気を付けましょう。魚介類を調理をする際は、けがをしないよう注意し、傷口に海水や魚介類が直接触れないようにしましょう。

